杉並区議会議員
2026年9月 vol.44

中村やすひろ通信



松庵３丁目の道路冠水 杉並区が対策を示す



8月22日17時頃、杉並区内で集中的に豪雨が発生し、西荻窪駅西側の道路（松庵3丁目北側とJR高架の間）に数十センチに及ぶ道路冠水が発生しました。冠水はほどなく排水されましたが、一時的とはいえ、近隣の商店等にも浸水被害がありました。

翌日、私は沿道の店舗などを訪問して冠水・浸水の状況を詳しく調査し、杉並区へ報告するとともに、対策を要望しました。

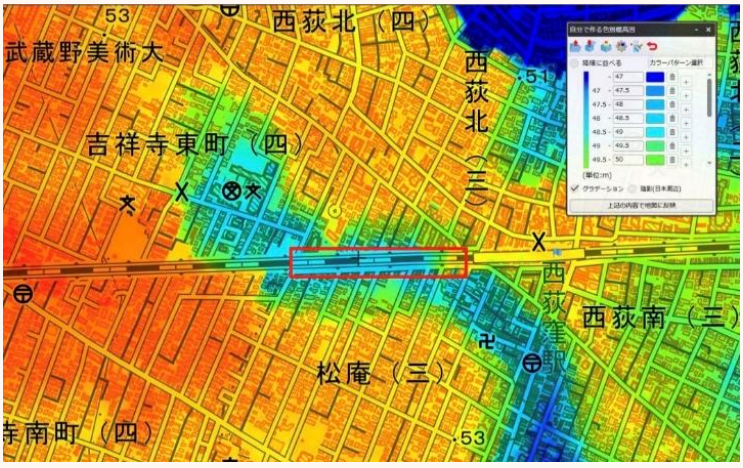
これを受け、区から同地域の道路冠水を軽減するための対策が示されましたので、以下ご報告いたします。

杉並区の冠水対策

１．冠水箇所の状況

右図（国土地理院の地図をもとに杉並区が作成）のとおり、赤い四角で囲った当該箇所は低地で、南側の松庵3丁目から下降勾配となっているため、短時間に大雨が降ると水がたまりやすくなります。

今回の豪雨は、約20分間という短時間に約37mmという非常に激しい降雨があったため、一時的な冠水が発生しました。道路上の雨水を速やかに排水することが課題となります。



２．対策の実施範囲

今回、排水対策を行うのは、当該道路及び図の点線で囲った区域（松庵3丁目17～36）となります。



（裏面につづく）

3．具体的な対策の内容

❶ 雨水ますグレーチング蓋へ交換：63 か所（対策範囲の約40%をグレーチング化）【交換済み】
グレーチング蓋により、道路上の雨水を雨水ますへ取り込みやすくします。

❷ 道路冠水の注意喚起看板設置 2 か所 【設置済み】

❸ 横断U字側溝の新設 2 か所 （設置場所は検討中） 【今年度中に設置予定】
横断U字側溝により、雨水を効率的に集めて排水します

❹ 浸透ますの設置（穿孔式含む）対策範囲内に 30～40 か所設置 【今年度中に設置予定】
浸透ますにより、集めた雨水を地中へ浸透させます。

❺ 透水性舗装化の検討 2 路線 【時期は調整中】
道路表面を流れる雨水を減らします。

❶ グレーチング蓋



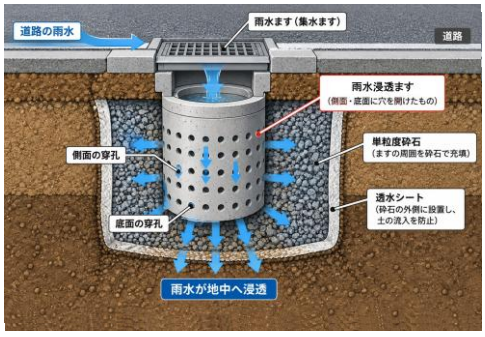
❷ 注意喚起看板



❸ 横断U字側溝



❹ 雨水浸透ますのイメージ



❺ 透水性舗装化（東京都の資料より）



複合的に対策を組み合わせることで、路面を流れる雨水を速やかに取り込み、効率的に排水するとともに、雨水の地中への浸透を促進します。これらにより、道路冠水の発生や冠水の程度、継続時間を軽減し、沿道の住宅や店舗への浸水、通行への支障など、被害の減少につながることが期待されます。

下水道については、この地区が東京都の計画の重点地区に位置付けられており、今後の浸水対策について検討中です。

中村　康弘（なかむら　やすひろ）
1966年 和歌山市出身。創価大学法学部卒・サンダーバードグローバル経営大学院国際経営学修士（MBA）外資系企業勤務等を経て、2007年4月より杉並区議会議員（現在5期目）
2026年5月～ 区議会副議長

メール： nospampls543@gmail.com　　発行： 杉並区議会議員 中村康弘